

はい!

# やくも町議会

第 79 号

令和5年11月

編集/議会広報広聴常任委員会

落部中学校(上)・野田生中学校(下) 3年生の生徒さんです。  
学校生活や夢について語っていただきました。(20ページ「耳をすまして」)

## 主な内容

	ページ
○令和4年度決算審査	②
○補正予算	⑦
○5名の議員が町政を問う(一般質問)	⑧
○特集! 青年舎、木蓮の経営状況	⑬
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑭
○議会報告会	⑯
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑱
○野田生中学校、落部中学校の皆さん(耳をすまして)	⑳



# 町民の幸せに つながったか？

## R4年度 決算審査

右のQRコードから  
決算委員会の中継を  
見ることができます



1日目



2日目



3日目



委員長  
佐藤 とも子

### 【総括質疑】

**Q** 経常収支比率（数値が低いほど弾力性がある）は88・5%、経常一般財源等比率（100を超えるほど財源に余裕がある）は102・5%と、ともに前年度より悪化している。決算では、ふるさと納税等により安定して見えるが、実態はどうか。また、基金残高はいくらで安定と考えるか。（牧野）

**A** 経常収支比率等が悪化した要因は、地方交付税の減額による。急激な財政状況の悪化はないが、注視していく必要がある。安定的な基金残高は70億円と考えている。（財務課長）

**Q** 執行方針にあるように、一次産業や商工業の事業後継者が確実に育っていれば活性化が期待できるが、今回の決算を通じて「人材育成」には希望が見えてこない。もっと真剣に取り組むべきではないか。（赤井）

**A** 町長にとつて常に心にとめていた大きな施策。地道にやっているかと考えている。（副町長）

**Q** 町税の不納欠損が、前年より217件、480万円増加しているが、コロナの影響もあるのか。（佐藤）

**A** 不納欠損する時は、財産調査を行ない、差押え可能財産がない場合、滞納処分執行停止となり、それが3年継続した場合に不納欠損をすることになる。

その他、生活保護や居所不明など、その年によって増減がある。納税相談には真摯に対応していく。（納税係長）

### 【総務費】

**Q** 地域おこし協力隊配置事業

任期終了しても、八雲に残り

たいという声はあるか。（赤井）

**A** 令和4年度は2人が町内に就職。令和5年度は2人が延長。他にも八雲に残りたいという声はある。（政策推進課長）

**Q** 予算では新規10人だが、決算で2人の理由は。応募者が減っているのか。（三澤）

**A** 他にも応募があったが様々な理由で辞退し、結果的に2名となった。町が求めている業種と、希望する業種が合致しないことも要因。（政策推進課長）

**Q** ふるさと応援寄附金奨励事業

**Q** 福島第1原発の処理水の影響もある中、ふるさと応援寄附金を通じて、ホタテを応援するという動きはないのか。（関口）

**A** 返礼品のホタテの動きに関しては今のところ大きな影響はない。今後、事業者とも相談しながら、八雲町のホタテがより目立つよう工夫していく。（政策推進課長）

**Q** ウクライナ避難民受入事業

**Q** 受入住宅では、インターンシップの生徒等、他に利用できないのか。（三澤）



【A】 ウクライナ避難民を優先に、合宿や域学連携等の活用を考えている。基本的には町と連携協定を結んでいるか、誘致を考えている事業でなければ難しい。(政策推進課長)

### 域学連携推進事業

【Q】 域学連携のテーマは。(赤井)

【A】 上智大学とは協定を結び、協議でテーマを決定。令和4年度はウクライナの留学生と八雲中学校3年生が異文化交流を行った。(商工観光課長)

【A】 札幌大谷大学は、運営方針の見直しで活動ができず令和5年度以降も難しい状況。今後は「すまいる熊石」を活用した事業を検討している。(地域振興課長)

【Q】 交流人口の拡大を目指すなら、こちらからテーマを提示するなど、要望を伝えるべきでは。(赤井)

【A】 令和5年度は上智大学と八雲高校の生徒の交流も準備を進めている。町からも意見を伝えていきたい。(商工観光課長)

### 地域高校就学支援事業

【Q】 事業効果は出ているのか。他



よこた きのよし 副委員長  
横田喜世志

に方法はないのか。(赤井)

【A】 現在の補助金の支援によって遠方から通学している生徒もいる。高校の魅力づくりに関しては、学校と話し合いながら進めていきたい。(政策推進課長)

### 地域公共交通網形成事業

【Q】 実証実験の結果と今後の対策は。(倉地)

【A】 実証実験は利用者が少なかったが、総合病院や関係機関と調整し、患者輸送バスについても考えていきたい。(政策推進課長)

### 総合ハザードマップ作成事業

【Q】 ハザードマップを作成・配布したが、それを役立てるための仕組みづくりが大切では。(大久保)

【A】 希望があれば出前説明会も考えている。来年度に策定予定の津波避難計画に合わせ、ハザードマップも再周知していく。(総務課長)

【Q】 令和4年度は、いくつの地域が避難訓練を行ったか。また、災害時の炊き出しはしないのか。(三澤)

【A】 令和4年度は、学校の一日防災学校に協力したのみ。炊き出しは自衛隊の協力が必要。(総務課長)

## 【選挙費】

【Q】 立会人の交代制の成果は。(三澤)

【A】 半日となったことで、応募のしやすさがあつたが、まだ定着していない。今年度は登録制にするなど、確保に向けて取り組んでいく。(選管事務局長)

【Q】 移動投票所は4月の統一地方選挙に活用していたのか。(三澤)

【A】 上八雲地区のみ。当初は有権者数が少ない地域の投票率を上げるためであったが、高齢者の足の

確保に視点を変えながら検討していきたい。(選管事務局長)

【Q】 投票率を上げるための施策としても、地域公共交通の実験は続けてもらいたい。(関口)

【A】 地域公共交通の例として、選挙と買い物組み合わせ等が考えられるため、検討していきたい。(選管事務局長)

## 【民生費】

### 福祉バス整備事業

【Q】 座席の間がとても狭いと聞いたが、どのような選定方法か。何か声は届いているか。(三澤)

【A】 中規模バスの種類が限定されており、仕様も標準のもので購入している。老人クラブ等で、狭いという声はない。(保健福祉課長)

## 【衛生費】

### 八雲地域ゴミ処理関連業務委託料

【Q】 予算額が毎年減額となつているのはなぜか。この減額は、業者に無理がないのか。(大久保)

【A】 予算と実際の入札額との違いや、適切な積算で予算額を見直し

たことによる減額。業者からの報告は黒字になっている。今後も適切に対応する。(環境水道課長)

## 【商工費】

### U・イターン就職奨励金事業

**Q** この制度がきっかけで八雲町に就職した人はいるのか。(赤井)

**A** 町内主要企業の採用予定者数、高卒見込み数をもとに、100名を見込んだが、結果は44名。初年度としては良い数字と捉えている。

転入者は道内から21人、道外から3人、このうちUターンが6人。アンケート調査では、85%が「奨励金がなくても移住した。」という回答。今後もPR活動を徹底したい。(商工観光労政課長)

### 奨学金償還支援事業

**Q** この事業の効果は。コロナ禍で若年層の貧困が表面化している中、この制度は利用者に周知されているのか。(三澤)

**A** 令和2年度からスタートし、3年間検証した結果、大きな効果を得られず、U・イターンに一本化した。奨学金の負担軽減ではな

く、産業の担い手確保と定住が目的であり、商工業、農漁業者の奨学金利用者を対象としている。(商工観光労政課長)

**Q** 事業の予算的にスクラップ&ビルドを考えた結果か。(三澤)

**A** 効果検証をし、分析した結果だ。(商工観光労政課長)

### 平田内泉源管理事業

**Q** 泉源の管理の状況は。(黒島)

**A** 1本の井戸に温度低下が起きている。昨年11月に雨水が侵入して温度が低下した可能性もあるため、様子を見ながら汲み上げていく。残りの井戸についても、北海道の補助事業で調査し、今後適切な管理をする。(産業課長)

### 熊石観光協会観光振興事業補助金

**Q** HTBの番組「ココキャン」の効果は。(赤井)

**A** 6月22・23日の2日間、熊石のキャンプ場で、キャンプの状況や催し物がYouTubeで配信されるなど、青少年旅行村や地域の特産品のPRに取り組んだ。一定の効果はあったが、天候不順もあり、キャンプ場の利用者数は昨年

に比べ減少した。(産業課長)



青少年旅行村

### ロードヒーティング事業補助金

**Q** 空き店舗区画について商店街組合との話し合いは進んでいるのか。(黒島)

**A** 空き区画は10区画あり、ロードヒーティングが稼働していない状態。商店街組合と協議しているが、閉店後も負担している人もいるため、公平性を考え、今後の方向性を出してもらうよう伝えていく。(商工観光労政課長)

### 本町の歩道の除雪をどう考えているのか。町として主体的に歩道の安全を考えるべき。(三澤)

**A** 長い間話し合いをしているが、

結果が出ていない。歩行者の冬の安心・安全は町の責任なので、早急に協議を進めたい。(副町長)

## 【農林水産業費】

### 黒岩漁港道路整備事業

**Q** この整備は漁協からの要請によるものなのか。(関口)

**A** 道路の経年劣化により、漁協からの要望で整備した。町道とはなっていない。(水産課長)

### コンブ礁造成事業

**Q** 令和元年からの事業であるが、現在の状況は。コンブの傷みや、成長が遅い等で製品にならないと聞いている。漁業者や北海道と協議し、問題解決に取り組んでほしい。(黒島)

**A** 事業主体の北海道が令和3年度に入れた50基は100%の着床率という結果。コンクリートブロックで造っているため、コンブに傷がつきやすいことは漁協から聞いている。投石も含め、整備について北海道と協議を進める。(水産課長)



### ホタテ貝アイヌブランド化事業

Q 予算については減額補正を行ったのか。効果と今後は。(斎藤)

A 稚貝の確保ができなかったことによる事業費の減額であり、補正はしていない。地場産の正常貝は90%、日本海から輸入した正常貝は94・6%で効果はあった。

当初、令和3～5年度の計画だったが、稚貝の確保ができなかったため、令和6年度までの事業となる。それ以降については今後、検討していく。(水産課長)



### 新規就農支援資金貸付事業

Q 令和4年度の新規就農者は。また、新規就農後に離農された方

への対応は十分だったか。(赤井)

A 1名が予定されていたが、受け入れ農家との協議や、本人の意向の結果、断念した。

離農された方は研修牧場に勤めしたが、その後退職。今後は新規就農後に離農される方には早めに関係機関と連携し、親身に対応する。(農林課長)

### 情報収集等業務効率化支援事業

Q 農業委員にタブレット端末を配布したが、その用途は。(三澤)

A 農地の現地確認アプリによる農地の利用状況調査や、オンライン会議、資料の送付等を考えている。(農林課長)

### サーモン種苗生産施設整備事業

Q 運営管理費が増額した理由は。(三澤)

A フィッシュポンプや軽トラック等の備品を補正対応して購入した。(サーモン推進室長)

Q 上八雲の施設購入費5千万円は令和4年度の予算書に載せる時

には仮契約ができていたのか。(三澤)

A 仮契約、覚書等はない。(サー

モン推進室長)

Q 口頭による協議だけで予算書に掲載するのか。(三澤)

A 一般的には、覚書などではなく予算計上し、議決後に売買契約を行うこととなる。(総務課長)

A 不動産を購入する場合、交渉で金額が決まれば、それをもとに予算化する。仮契約して議決後、本契約となる。(財務課長)

Q 所有者が5千万円で売る意思があったから予算計上をしたのか。(三澤)

A 当初は通常の売買を予定し、令和4年度予算に5千万円を計上したが、協議の中で「土地収用法」の話が出たため、3月で減額補正し、改めて契約に向けた協議をしている。(サーモン推進室長)

### ひやま地域サケ増殖事業

### 檜山サケふ化施設整備事業

Q 事業の検証結果は。(大久保)

A ニシンは今年2月に群来を確認。2.4トンの漁獲があった。ナマコは、毎年2～3千万円の水揚げがある。サケは、放流から3～5

年かかり、安定的に維持はできていないが、重要な資源と考えている。(産業課長)

### 【消 防 費】

Q 消防団員が減っているが、確保対策は。(三澤)

A 消防大会の際に団員促進ブースを設けて、町民にPRしている。各分団に若い人が入ってこないという声はあるが、極端に減っているわけではない。(消防長)



### 【教 育 費】

### 読解力向上推進事業

Q 事業の成果と課題は。(赤井)

A リーディングスキルテスト等を行い、学習意欲が総合的に向上し、成果が見られた。この取り組みは授業改善、読解力の向上が推進されていると捉えるが、更に工

夫し進めたい。(学校教育課参事)  
**Q** 基礎学力が定着したら、それを活かし、更に創造することが大切だと思うが。(赤井)

**A** 授業がわかると、学力が向上し、学習意欲につながる。また、自ら課題解決に向けて取り組めるよう総合的に向上させている。(学校教育課参事)

### 木彫り熊講座開設事業

**Q** 事業の成果は。後継者は育っているか。(倉地)

**A** 経験年数はそれぞれだが、長期間の受講生もいる。木彫り熊の制作実演をした方もいた。後継者となるまでには、時間がかかる。(社会教育課長)

**Q** 木彫り熊に特化した地域おこし協力隊の募集は。(三澤)

**A** 講師の後継者も大きな課題。協力隊の採用も検討していきたい。(社会教育課長)

### 木彫り熊デザイングッズ企画開発事業

**Q** 事業の結果と検証、今後の展望は。(大久保)

**A** 木彫り熊の魅力を全国にと、デザイングッズを企画販売し、八

雲町の歴史を伝える下げ札も作成。東京の店舗でテスト販売をしたが、幅広い年齢層が来店し、海外客も多く、予想をはるかに超える効果があった。ブームではなく八雲町の文化として定着させていきたい。(社会教育課長)



木彫り熊グッズ

### ICT教材整備事業

**Q** 不登校の子もオンラインで繋がっているのか。(赤井)

**A** 不登校の児童・生徒の2割程がオンラインで学習している。学校に来られる児童・生徒については別室指導や時間をずらすなど、つながりを切らないように対応している。(学校教育課参事)

### 八雲町平和学習事業

**Q** 図書館で平和学習の報告書が閲覧できない理由は。(三澤)

**A** 届けていなかった。バックナンバーも含め閲覧できるようにしたい。(社会教育課長)

**Q** 報告書には個人名が記載されているが、ホームページではインシャルになっている。行き過ぎた配慮なのは。(三澤)

**A** インターネットでは個人情報観点で慎重に行っている。今後、本人や家族の希望も含め、検討したい。(教育長)

### 二十歳の集い

**Q** 二十歳の集いの写真が町広報に掲載されていないという声があった。掲載してはどうか。(佐藤)

**A** 報告の意味も込めて、掲載する方向で考える。(教育長)

## 【歳入】

**Q** 固定資産税の現年度分が不納欠損になっているが。(横田)

**A** 建物が残っていると、法人の実態がなくても固定資産税が課税される。慎重な検討のもと即時消

滅によって不納欠損とした。(財務課長)

## 【病院事業会計】

**Q** 医師の残業の現状と今後の対応は。(三澤)

**A** 平日はほとんど残業がない。夜間・休日の呼び出しも多くはない。今後、出出勤の状況を電子化し、細かく把握できるシステムを導入する予定。(総合病院事務長)

**A** 国保病院も時間外労働はほとんどない。夜間・休日は医師の宿日直で対応しているが、件数も少ない。(国保病院事務長)

**Q** 午後診療など、診療時間の調整等において患者サービスの余地はあると思うが。(三澤)

**A** 出張医は派遣の時間制約があるため難しく、常勤医師についても入院患者の管理などの業務がある。今後は院長と相談し、外来時間の拡大も考えていきたい。(総合病院事務長)



## 第3回定例会

## 令和5年度一般会計補正予算

# 1億6,133万5千円追加

(補正後の総額 166億1,657万1千円)

第3回定例会は9月6日から9月13日までの会期で開かれました。補正予算、条例改正、工事請負契約の締結など、議案11件、報告3件、同意3件、認定9件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

**注目!**

## 補正の主な内容

### 公有財産購入費 5,000万円

内訳：土地購入費 678万8千円  
建物購入費 4,321万2千円

### 土地収用法事業認定申請収入印紙代 15万8千円

節税のために「売買」を「収用」に変更するのは、地方自治体として適切な対応なのか。特別委員会で検証したい。(大久保)

サーモン養殖事業における種苗生産施設のバックアップ施設として、民間事業者が所有する上八雲のふ化施設を購入するもの。取得に際し、所有者より土地収用法を適用できないかとのことで協議を進めたが、より慎重な議論と対応が必要と考え、可決するものの、議論は継続することとした。

令和5年10月18日開催の第6回臨時会において「二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会」が設置されました。



熊石サーモン種苗生産施設のバックアップ施設として購入予定(写真は熊石の施設)

### 土地収用法とは

公共事業など公益性の高い事業のために土地の所有者から土地を収用することを認めている法律。

合意を得られた場合には、任意の売買契約を締結することになるが、条件面で折り合いがつかず、事業の進行が滞る場合には『土地収用制度』が適用される。

譲渡で受け取る対価保証金は一時所得とみなされ課税の対象となるが、一定の要件を満たせば課税特例を受けることができる。課税特例には、「代替資産取得した際に譲渡所得がなかったことにするもの」と「譲渡所得から最高5,000万円までの特別控除を差し引くというもの」があり、いずれかを選択する。

### 飼料価格高騰緊急対策事業補助金 1,870万4千円

国際的な飼料の原材料価格高騰などにより、農業や酪農を営む法人が直面する飼料価格高騰に対する負担軽減を図るため、新函館農業協同組合等を通じ支援するもの。

### 山越小学校150周年記念事業助成金 70万円

山越小学校は令和5年に創立150周年の節目を迎えるにあたり、同年11月に行われる記念式典や、各種記念事業の経費を協賛会に補助。

### 不妊治療・先進医療交通費助成金 30万8千円

### 不妊治療・先進医療費助成金 350万円

### 委託契約の締結

八雲町アイヌ文化財保存活用業務  
5,549万5千円  
契約の相手方 凸版印刷株式会社

# 一般質問

# 町政を問う!

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

※町長が新型コロナウイルスに感染し、欠席となったため、副町長が答弁しています。

Q

## 会計年度任用職員の処遇改善について

A

### 社会情勢に応じて改善に努める

よこたきよし 議員 横田喜世志



職員制度が導入された。国家公務員に準じた給与改定や社会情勢に応じ、改善に努めていく。

問 国家公務員に「準じて」というのであれば、各種手当の支給など、八雲町独自の待遇にできると思うが、いかがか。

総務課長

地方自治法上、フル

タイムの会計年度任用職員に対しては扶養手当、住居手当等が支給できることになっているが、八雲町ではほとんどがパートタイムの会計年度任用職員なので、支給できない規定になっている。

問

正職員を募集してもなかなか来ないということもあり、会計年度任用職員を採用していることを考えると、待遇の改善は必要であると思うがいかがか。

副町長

八雲町独自で新たな制

度を設けることもあり得る。近隣町村の状況も踏まえ、研究していきたい。

Q 物価高騰対策の支援は

A 国や北海道の動向を注視

問 国民は物価高騰に困窮している。燃料価格の高騰や、食料、日用品の値上げが続き、来年10月には電気料金が値上げになる予定であり、家計を圧迫している状況であるが、対策は考えているのか。

副町長

令和3年度以降、非課

税世帯及び子育て世帯に対する給付金給付事業は毎年実施されているが、物価高騰の影響を受けているのは非課税世帯だけではないことも理解している。

限られた財源を有効に活用し、より良いタイミング、より良い方法で対応できるよう、国や北海道の動向を注視していく。





Q

情報共有が協働の第一歩！

A 世代を考慮した情報伝達に努める

あかい 赤井 睦美 議員

問

昨年12月の定例会の一般質問、「情報共有を！」に対して、「地域の課題解決や活性化を図るためには、住民の意見や提案をしっかりと受け止める体制づくりが重要」との答弁があった。その体制づくりはすでに万全なのか。

6月に新庁舎基本設計の住民説明会が行われたが、「情報共有」という点からみると、町長の持っている情報と、私たちに示される情報の量があまりにも違い、共有は困難であった。住民の関心が高い事業に対し、このような対応では住民の心は離れてしまう。

今後、協働のまちづくりを進めるためにも、より丁寧な説明と、情報共有のための更なる工夫が必要だと思うが、いかがか。

副町長

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で意見交換を行う場を持たなかったが、新庁舎の住民説明会でもう少し工夫すべきであったと反省している。

これからも、より多くの住民に関心を持ってもらえるよう、わかりやすい内容や表現、各世代のニーズに対応した情報の伝達に努めていきたい。

政策推進課長

SNSやQRコードを用いるなど、世代ごとに工夫した情報提供を各課にも徹底させていきたい。

問

新庁舎の住民説明会においても、「屋根は木造に見えるが、鉄骨に木を貼ったものだ」、「60億

70億を予定しているが、過疎債など、町の持ち出しはいくら位になる」など、もっと丁寧に説明すべきであったと思うが、いかがか。

副町長

新庁舎の住民説明会については、数字が独り歩きをするという懸念もあったが、建物の構造に関しては、具体例を挙げるなど、住民の理解を得られるような説明にすべきであったと反省している。



情報共有を！

Q

人材確保とまちづくりの推進を多角的に！

A

人材確保に向けて進める

問

昨年12月の定例会において、「人手不足解消と町の活性化を目指す民間企業との連携」を提案したところ、「民間の企業に積極的にアプローチしたい。」「企業版

ふるさと納税に人材派遣型というものもあるので、検討してみたい」との答弁があった。

その人材派遣型は、現在83自治体、30社、102人が活用され、1企業で58自治体に61人の社員を派遣している企業もあるそうだ。

民間の知識や技術を活用し、人材の確保と充実を図り、関係人口の創出・拡大に向けて、早急に取り組むべきではないか。

政策推進課長

企業版ふるさと納税にはルールがあり、研修牧場やサーモン養殖といった地域再生計画に掲げているものとなっている。

今後、国や道と相談しながら、地域再生計画を変更し、必要な人材がいる企業にアプローチすることは考えられる。

問

人材マッチング会社との連携など、職員募集に積極的に取り組むべきではないか。

副町長

八雲町としてもいろいろな分野で人を探しているのですが、民間企業と手を組む中で対応できる方を協議し、進めていきたい。

Q

サーモン養殖事業について

A

北海道産サーモンの

先駆者として取り組んでいく

せきぐち まさひろ  
関口 正博 議員



問

八雲町におけるトラウト

サーモン海面養殖試験事業は、5年間の試験期間を経て、令和6年度からの本格事業化に向けた準備が進められている。この事業に対し、より理解を深めることが重要と考え、以下の点について質問する。

①令和5年水揚げ分の生残率の大幅な低下についての検証は進んでいるか。

②道内各地域・全国各所において、サーモン養殖事業の取り組み・計画が進んでいるが、二海サーモン

プロジェクトへの影響はあるか。また、サーモン養殖事業を行う道南の他自治体との連携の状況はどうなのか。

副町長

①令和5年に水揚げしたサーモンは、初めて熊石サーモン種苗生産施設で育成した種苗を使用したものである。生残率の低下については、稚魚の長距離輸送、また昨年8月の大雨被害による稚魚へのダメージが影響したものと推察しているが、原因の特定は難しい。

②「二海サーモン」の商標登録など、北海道初の海面養殖サーモンとして、認知度や付加価値向上に

取り組み、他地域のサーモンとの差別化を図りながら、浸透を図っているところである。

近隣のサーモン養殖事業に取り組む自治体との意見交換、情報交換を行っているところであり、引き続き事業推進に向けて連携を図っていく。

③現状のままでは収支は赤字となるため、施設を増設し、種苗生産量を増やすことが必要。法人設立の時期、規模、体制などについて、連携予定の企業と相談、協議をしながら準備を進める。



水揚げされた二海サーモン

議会これからの予定

- 《11月》 9日 総務経済常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 《12月》 6日 議会運営委員会
- 11日～14日 第4回定例会
- 全員協議会
- 総務経済常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和5年第4回定例会

12月11日(月) 午前10時から  
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

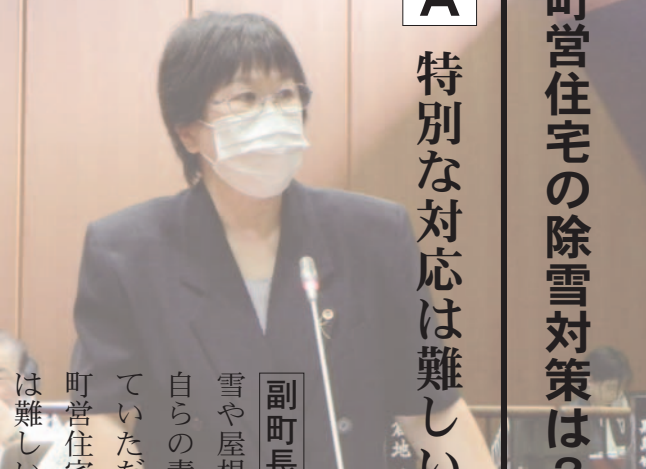


Q

町営住宅の除雪対策は？

A 特別な対応は難しい

ともこ 議員  
さとう 佐藤



**問** 高齢者等除雪費助成交付事業は、現在の需要に対して十分に応えられているか。

**副町長** 八雲地域は年間7〜17件の申請があり、3つの事業者が地区を分けて担当している。熊石地域は年間1〜4件の申請で、十分に対応できると考えている。

**問** 町営住宅の排雪や屋根の雪おろしは、高齢化が進む中、困難な世帯もある。業者を頼むと高額で低所得者には厳しい。町営住宅の住民と話し合って、官民合わせた除雪対策を考えられないか。

**副町長** 町営住宅入居者の、排雪や屋根の雪おろしについては、自らの責任・負担において対応していた、たくべきものと考えており、町営住宅に特別の対応を取ることが難しい。

**【高齢者等除雪費助成交付事業】**  
65歳以上や障がいがある方で、自ら除雪することが出来ず、家族や地域の方の協力も得られない場合に、積雪15センチメートル以上の時に、玄関から公道まで幅1メートル程度の通路を確保する事業である。

利用料金は1回あたり30分以内の作業時間で、1600円（助成金800円＋本人負担額800円、生活保護世帯は助成金1200円＋本人負担額400円）。

保健福祉課が窓口となる。

Q さらに公園

トイレ改修は？

A 必要性は低い

**問** さらに公園は、昭和39年に開園され、住民の憩いの場として愛されている。残念なのは、トイレが和式で衛生的にも問題がある状況である。改修すべきではないか。

**副町長** 公園駐車場のトイレは、最近では利用者が減っている。150メートル先の遊具広場に水洗化されたトイレがあるため、改修を行う必要性は低いと考えている。

Q 新幹線トンネル工事  
要対策土仮置きについて

A 進捗状況について、  
要望があれば対応する

**問** 富咲地区Cに要対策土を処分するための道路整備が進んでいるが、冬場の交通事情により、町内に仮置きされる予定だ。要対策土はヒ素などの有毒物質が含まれていることが多く、法律に則った毒物管理責任者が必要だ。また、

要対策土に消石灰を入れて中和させるべきと思うが、町は機構に確認しているのか。

**副町長** 毒物管理責任者の配置については不要である旨、鉄道・運輸機構から説明を受けている。消石灰を添加することは、不適切との説明を受けている。

**政策推進課長** 仮置きを進捗状況については、議会の要望により対応したい。

Q 自衛隊への名簿提供

A 除外申請の仕組みをつくる

**問** 自衛隊の隊員募集に際し、八雲町でも名簿を提供していたことがわかった。個人情報保護に反することではないか。

**副町長** 八雲町では平成30年から、22歳、18歳、15歳になる方の情報提供を行っているが、法令に基づき適正な情報提供であり、今後も求められた場合は対応する。

八雲町でも、除外申請制度を設け、町民への周知を図っていく。

**Q** 要対策土をもっと安心できる工法へ！

**A** 機構を信頼しているが、協議の場は設けたい

みさわ 三澤 議員  
きみお 公雄 議員

**問** 「要対策土の置場」での安全管理に関しての機構の説明が揺れている。置場選定の説明では

「吸着」という言葉のイメージで安心感を植え付けたが、北斗市村山地区で地下水が汚染された後の現地説明では「ろ過」をイメージする表現に替わり、環境基準値以下であれば問題ないという説明に変わった。  
八雲町内での要対策土の受け入れは「村山地区での反省を活かした」工法に変えたのだが、選定当時と工法も説明も変わっているこ

とに対し、町の認識はどうなのか。

**新幹線・公共交通係主任**

説明が変わったという認識はない。現地盤の吸着性により濃度が薄められ、盛土端部において環境基準値以下になるという説明を受けている。

**問** 札幌市の山口地区での要対策土置場の工法は、二重遮水シートで包んで地下水に触れる可能性を極力小さくしている。

また、場所選定時から地震の影響の可能性を文献調査し、耐震強度を増した積み方としている。

一方、八雲での機構の対応は、活断層がある地盤であること（地質学会も公表している）を指摘したときも、「知らなかった」「第三者委員会からの指摘はなかった」との回答であった。

八雲での要対策土置場は下に何も敷かず、吸着層により、外に染み出すことに関しては「基準値内であれば問題ない」という工法。しかし札幌では「地下水には絶対に触れさせない」という明確な意思のある工法。この「対応の違い」をどう考えるのか。

私は受け入れ自治体の「考え方の差」からきていると思う。「機構が安全だと言うなら安全だ」という考え方を改めるべきだ。

**政策推進課長** 重金属の濃度だけではなく、受入地の環境をトータルで考えた結果で選定した工法という説明を受けている。

**副町長** これまでは機構の説明を全面的に信頼して対応してきたが、指摘された点に関しては、意見交換や協議する場を設けて対応できればと思っている。

要対策土に含まれる「素、鉛などの重金属を」どのように保管するのかについて、「多くの市民が関心を示す札幌」と「少数しか関心を示さない八雲」の違いがあるのでは。

それは「住民の安全と安心感」に責任を持つべき組織の姿勢にも表れる。責任に対して「逃げ腰の行政」や、自らも含めて「及び腰の議会」に繋がってくるのではないだろうか。（三澤）

**Q** 戦争をどう 教えていくのか？

**A** 戦争を多面的に学ぶ機会を作っている

広島・平和学習事業の立ち上げ時のような組織を作り、八雲町民の戦没者もいる「戦争末期のソビエトによる侵攻」「樺太での地上戦」「函館空襲」など、北海道での出来事を取り上げるなどの検討も期待したい。（三澤）

**Q** 遊楽部川（中州や河畔林）の現状は局地的豪雨でも大丈夫か？

**A** ひどい状況と認識、継続して要請もしている



特集！

# 「町が出資した株式会社」の決算

積極的に産業振興を推し進める八雲町の先兵として、町が出資して「株式会社」をつくっています。歩み始めたばかりですが、議会としては「厳しく」これらの事業進行を検証しています。

## 【株式会社 青年舎 令和4年度の経営状況】

総飼養頭数：903頭（搾乳523頭）、生乳出荷量：5,467 t（1頭あたり10,433kg/年、36.6kg/日）で計画を8%上回った。※1頭あたりで、全道（31.2kg/日）、渡島（30.6kg/日）を上回る。

研修生は4名を受け入れ、うち1名は青年舎正社員として就農している。

飼料・肥料等の高騰、販売価格の下落などの影響や、建物・機械等の減価償却費（1億4,700万円）などにより、1億6,172万2千円の当期純損失となった。

## 【吉田社長のコメント】

酪農経営を取り巻く状況は、過去に例がないほどの難局ですが、地道な経営改善を進めています。

今後に向けては、育成牛のゲノム採取・分析にも着手しており、これにより更なる個体改良が進み、生産性向上が図られます。また、乳房炎対策にワクチン接種や和牛の受精卵移植を始めており、飼養管理技術の向上を目指しています。また、草地更新も計画的に進めており、良質で安価な飼料の安定確保に努め、1頭あたり日量40kgの生産も期待されます。

今年3月にはバイオガスプラント工事が完了しました。現在、試運転中であり、来年度からはFITによる売電が可能となります。

明るい未来を信じて、青年舎社員一丸となり、この難局を乗り越えるよう、更なる努力をしていきたいと思ひます。

※直近の成績 日乳量39.2kg/頭（全道31.8kg、渡島30.8kg）



## 【株式会社 木蓮 令和4年度の経営状況】

八雲町の企業版ふるさと納税に係る業務を受託し、28社/1,166万2千円の受託手数料収入があったほか、丘の駅の運営においても観光需要の回復により166万3千円の純利益となった。ペコレラ学舎の運営など、廃校活用事業も12万8千円の純利益となり、連結決算において411万9千円の当期純利益となった。

## 【近藤社長のコメント】

木蓮は「人材育成」と「八雲町の物産のPR」をする会社。その目的は「人を遺すこと」です。しかし、現状の木蓮には、稼ぐ手段も人材も足りていません。それを実感した令和4年度でした。

新しく始めた八雲高校ビジネス科との「町おこし事業」は、人材育成を念頭に、八高生が「自ら考え、自ら動き出す」こと。それを木蓮が後押しするという企画です。事業として企画し、実行して検証するという一連の流れを経験させたいと思っています。

今後も「人材育成」を中心に据えて、試行錯誤しながらチャレンジすることができる環境である「木蓮」でありたいですね。



## 定例会・臨時会議件一覧

令和5年第5回臨時会（令和5年8月9日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第2号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第4号）
令和5年第3回定例会（令和5年9月6日～13日）			
認定第1号	令和4年度八雲町一般会計歳入歳出決算認定について	議案第11号	令和5年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
認定第2号	令和4年度八雲町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
認定第3号	令和4年度八雲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	報告第2号	株式会社青年舎の経営状況の報告について
認定第4号	令和4年度八雲町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告第3号	株式会社木蓮の経営状況の報告について
認定第5号	令和4年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第1号	八雲町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて
認定第6号	令和4年度八雲町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第2号	八雲町農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
認定第7号	令和4年度八雲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第3号	八雲町教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
認定第8号	令和4年度八雲町病院事業会計決算認定について	発委第1号	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
認定第9号	令和4年度八雲町水道事業会計決算認定について	発議第1号	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
議案第1号	八雲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発議第2号	現行の健康保険証の存続を求める意見書
議案第2号	八雲町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	発議第3号	下水サーバイランス事業の実施を求める意見書
議案第3号	八雲町病院奨学金貸付条例の一部を改正する条例	発議第4号	福島第1原発にたまる処理水の海洋放出中止を求める意見書
議案第4号	八雲町火災予防条例の一部を改正する条例	発議第5号	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書
議案第5号	工事請負契約の締結について	発議第6号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
議案第6号	工事請負契約の締結について	発議第7号	東京電力福島第1原発にたまる処理水放出によって生じる「課題」に迅速に取り組むことを求める意見書
議案第7号	委託契約の締結について	決算特別委員会審査報告書	
議案第8号	北海道市町村職員退職手当組合格約の変更について	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	
議案第9号	町道路線の一部廃止について	議員派遣の件	
議案第10号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第5号）		
令和5年第6回臨時会（令和5年10月18日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	発委第1号	二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会設置に関する決議
議案第2号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第6号）		



**異議あり!**

## 第3回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議案名	採決結果	赤井陸美	佐藤智子	横田喜世志	大久保建一	関口正博	宮本雅晴	倉地清子	三澤公雄	牧野仁	安藤辰行	斎藤實	能登谷正人	黒島竹満	千葉隆
議案第2号 八雲町病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第10号 令和5年度八雲町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	棄権	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
発議第2号 現行の健康保険証の存続を求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	
発議第4号 福島第1原発にたまる処理水の海洋放出中止を求める意見書	否決	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

### 渡島・檜山管内市町議会議員研修会に参加しました

10月16日、北斗市において議員研修会が開催され、議長はじめ9名の議員が参加しました。

第1講演は、朝日新聞東京本社ネットワーク報道本部次長の三島あずさ氏による「地方議会とハラスメント」というテーマで、時事問題も絡めながら「旧来の考え方そのものを変えていかなければならない」と講演いただきました。第2講演では、北海道経済部資源エネルギー局長兼ゼロカーボン推進局風力担当局長の西岡孝一郎氏による「ゼロカーボン北海道について」というテーマで、温室効果ガスによる温暖化の現状と、ゼロカーボンをめぐる北海道の取り組みについて講演いただきました。八雲町も「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、今話題の洋上風力発電についても熊石地域が該当しており、とても有意義な研修でした。



### 議会のうごき

#### 《8月》

- 7日 議会運営委員会
- 9日 第5回臨時会  
全員協議会  
総務経済常任委員会
- 17日 文教厚生常任委員会
- 28～29日 文教厚生常任委員会視察調査

#### 《9月》

- 1日 議会運営委員会
- 6～13日 第3回定例会  
決算特別委員会  
総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会  
広報広聴常任委員会  
議会運営委員会

#### 《10月》

- 4日 全員協議会
- 6日 広報広聴常任委員会
- 12日 総務経済常任委員会  
議会運営委員会
- 18日 第6回臨時会  
二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会
- 20日 文教厚生常任委員会  
広報広聴常任委員会
- 27日 二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会

# 開催しました！



## 八雲会場

7月25日、はぴあ八雲で開催し、昼18名、夜11名の皆さまの参加をいただきました。

### (少子化と八雲の未来について)

- ・若者が結婚しやすい環境、共働きしたいとき、奥さんの働ける場所の確保。
- ・修繕したら利用できそうなアパートなど、新婚さん優先で安く提供するのはいかがでしょうか
- ・新庁舎にこんなにお金を使うよりも、人口問題にお金を使ってほしい。

### (八雲町議会議員のなり手について)

- ・議員は責任感を持つべき。町長の方針に対し、しっかりチェックしてほしい。
- ・立候補しやすいよう議員報酬を上げたが、選挙の結果は無投票。何も変わっていないのではないか。

### (その他)

- ・木彫り熊をアピールし、後継者を育て、しっかりと伝承してほしい。
- ・Jアラートが鳴っても、どこに避難したらいいのかわからない。
- ・人口が減っていくのに、立派な庁舎は必要なのか。
- ・胆振東部地震の時に小学校の体育館に避難したが、プライバシーが守られる避難所にしてほしい。



昼の部

## 皆様から頂いた意見をもとに、取り組みを検討しました！

### (町長に伝えるべき事項)

- ・国保病院建替事業、新庁舎建設事業について、再度の説明会を開き、丁寧な説明を要望する。

### (議会運営委員会の担当事項)

- ・報告会の名称を含め、「議会カフェ」の実施等、議会基本条例の文言改正の検討をする。

### (各常任委員会の担当事項)

- ・地域おこし協力隊のあり方、Jアラートの対応の仕方、木彫り熊の充実、避難所のプライバシーの配慮、生ごみの堆肥化、婚活について議論を深める。

## 議会カフェ 開催しました！

早速、新たな取り組みとして、10月14日、町民センターで開催された木育事業の中で、「議会カフェ」を開催しました。





開かれた議会  
をめざして

# 議会報告会

～皆さんの声を聞かせて下さい～

## 熊石会場

7月25日、くまいし館で開催し、8名の皆さまの参加をいただきました。

### (少子化と八雲の未来について)

- ・町内会の維持が難しい。町内会の合併を考えてはどうか。
- ・男女の出会いの場がない。何かイベントを開いてほしい。

### (八雲町議会議員のなり手について)

- ・議員のなり手の話なら、若い人たちが来れる夜の時間帯にしたほうが良かったのでは。
- ・高校生に議会や選挙を学ぶ機会をつくれば良いのでは。
- ・議員が建設業や商工会等で勉強会をやって、地域の信頼を得ながら、後継者を育ててはどうか。
- ・雇用されている人は立候補できない。報酬を上げるだけではなく、議会の環境整備も必要。

### (その他)

- ・国保病院建替えについて、もっと町民に説明すべきではないか。
- ・議員にも、お祭りの山車の引手となって参加してもらいたい。



## 落部会場

7月25日、落部町民センターで開催し、9名の皆さまの参加をいただきました。

### (少子化と八雲の未来について)

- ・国が出した人口減少のデータより、八雲町のデータのほうが必要。
- ・落部にも地域おこし協力隊が必要なところはある。
- ・子ども達がなぜ八雲に戻ってこないのかを考えるべき。

### (八雲町議会議員のなり手について)

- ・小学校の児童の数が減っている。議員も若い人をどう呼び込むか考えてほしい。
- ・議会報告会のような機会をもう少し増やしてほしい。

### (その他)

- ・Jアラートが発信された時の対応を学校だけではなく、地域にも共通理解できるようにしてほしい。
- ・新庁舎や温泉施設の改修など、子どもを大切にとっておきながら、子どもに借金を負わせている。

# 常任委員会 の活動

令和5年8月から令和5年10月の  
各常任委員会の活動です。

## 文教厚生

### ●国保病院経営強化プランの策定 について（熊石国保病院）

現病院から新病院への持続可能な病院運営に道筋を示し、将来にわたって地域住民に良質な医療を提供していくためのプランです。

新病院は現在の雲石町から平町へ移ります。病床は現在の99床から30床となり、回復期のリハビリテーションに力を入れます。

建築事業費は25億円程度を見込み、財源として病院事業債、過疎債等を想定しています。

建設工事は令和6年3月～令和7年4月、開院は令和7年6月の予定です。

### ヤングケアラー条例を！

「ヤングケアラー条例」を文教厚生常任委員会でつくろうと計画しています。

全国初のケアラー支援、埼玉県条例によると、「ケアラー」とは「高齢、身体上又は精神上の障がい又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上その他の援助を提供する者」と定義づけられています。また「ヤングケアラー」は18歳未満としています。

「ヤングケアラー」は、そうとは意識しないで介護を行っている場合も多く、潜在的な存在とも言えます。



## 視察調査報告

まおい学びのさと小学校（長沼町）  
安平町立早来学園（安平町）を視察してきました。

人口減少や少子化などにより、教育のあり方は日々変遷していることから、これからの八雲町の学校教育の参考とするため、8月28～29日に、長沼町と安平町で今年4月に開校したばかりの学校を視察してきました。

### まおい学びのさと小学校

人口約1万人の長沼町で、廃校となつた校舎を活用し、令和2年に北海道知事に認可された私立の小学校です。1学年20名、定員120名（初年度は1年生から4年生まで）の学校です。

「子どもが中心の体験型学習」が大きな柱です。通り一遍の学校行事はなく、通知票もありません。子どもの自主性を育むコンセプトが満載です。

### 安平町立早来学園

人口、約7000人の安平町は平成30年9月の胆振東部地震で大

きな被害を受けました。当時の早来中学校校舎が使えなくなり、仮設校舎で学校生活を送りました。

3つの小学校と1つの中学校を統合、1～9年生までの小中一貫の義務教育学校が新設されました。



早来学園

「大人と子どもの接点を増やしたい」という狙いから、地域の人も図書館や体育館、会議室などに出入りできる仕組みになっています。

どちらの学校も、まだ始まったばかり。ここから世界に通じる人材が排出されるかもしれません。

八雲町の教育に反映できることがあるのか？今後の課題です。



## ●上八雲地区ふ化施設について (サーモン推進室)

民間事業者が所有する施設の譲渡を受けるための協議の中で、所有者から土地収用法の事業認定制度の活用申し出があり、令和4年度予算を減額補正したが、新たに令和5年度予算において、事業認定申請料15万8千円、施設購入費5千万円など、増額補正する。

### 【委員から出た意見】

- ・ 売買でまとまっていた話が、なぜ土地収用法の話になったのか。
- ・ 法人設立後に売却予定の物件であるはず。収用で大丈夫なのか。

7ページに関連記事あります。

## ●飼料価格高騰緊急対策事業について (農林課)

### 補助内容

国が実施する「国産飼料利用拡

大緊急酪農対策事業」で交付される補てん単価が都道府県と同額になるように、差額分を補助する。

- ・ 乳牛…2800円(1頭あたり)
- ・ 肉牛…1680円(1頭あたり)

## ●日本クリーンファーム(株)八雲 桜野肥育牧場(仮称)建設にかかる 町有地の譲渡について(農林課)

国内産豚肉の生産事業を維持発展させるため、新たな肥育農場の建設を進めており、このたび旧桜野牧場跡地を建設地として譲渡する。

## ●遊楽部川及び落部川に係る河畔 林の伐採について(建設課)

河川本来の流化能力を維持するため、北海道の負担により、遊楽部川と落部川の河畔林を伐採する。



遊楽部川の令和5年度伐採予定区間

## ●二股トンネル外1箇所工事における濁水未処理水の流出について (政策推進課)

9月4日、盤石トンネル坑内から濁水が流出。濁水の流出を最小限に留めるため、応急処置として濁水を清濁分離し、清水分を下二股川へ放流した。水質調査の結果、異常がないことを確認した。

想定される原因としては、ポンプの不具合、監視体制の不備、作業中断の基準がなかったこと、予備ポンプの準備に対する認識不足などがあげられる。

## ●旧すまいる熊石建物及び旧熊石 高校公宅取得に伴う関係条例等の 整備について(地域振興課)

人口減少と高齢化が進む熊石地域において、移住・多拠点生活を希望する者に対し、関係人口の拡大と地域の活性化を図ることを目的にシェアハウスを設置する。指定管理者として、人材確保・移住定住プロジェクトチーム「地域戦略くまいし」を候補者として検討している。

## ●「関係人口の拡大による熊石地域の 人材確保に向けた取り組み」 について(地域振興課)

具体的な事業案として、2拠点生活体験、お試し移住などの「関係人口増加事業」、地域おこし協力隊の受け入れ、お試し就労などの「人材確保・育成事業」、地域交流イベントなどの「地域活性化事業」を計画している。

### 【委員から出た意見】

- ・ 建物取得や条例整備、本格運用までのロードマップも示されているが、運営に関しては、具体的なものは示されていないのではないか。
- ・ 町が施設を購入し、必要な改修整備をし、なおかつ赤字にならない金額で設定したいという指定管理料なら、だれもが手を上げたいはず。行政の公平性に問題はないのか。
- ・ 地域内の若者の「やる気喚起」だとしても、形もできていない組織・団体に対し、先に条例まで整備してというのは順番が違っていないか。
- ・ 公募にして、事業内容を明確にさせるべきでは。

# 耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。今回は

## 野田生中学校・落部中学校の3年生の生徒さんです！

### 野田生中学校3年生

#### Q 将来の夢や、やってみたいことは？

- ・実家の農業、漁業を継ぎたい。
- ・プロ野球選手になりたい。
- ・声優になりたい。
- ・興味があるので、映画関係の仕事をしたい。
- ・動物関係、翻訳関係、美容関係などなど。

#### Q 学校の思い出は？

- ・いろいろな行事を通して後輩と仲を深められたこと。
- ・修学旅行で道外へ3年生全員で行けたこと。
- ・学校祭で、お笑いや落語などを披露したこと。
- ・受験のことを考えると、1年生のときからもっと勉強しておけばよかったと思っている。

#### Q 野田生中学校の自慢は？

- ・人数が少ない分、仲良く行事ができて楽しい。
- ・人数が少ないので、1年生から3年生まで、誰でも目立つことができる。
- ・先生と生徒が身近で、友達のように接することができる。
- ・先生から教えてもらう勉強がわかりやすい。
- ・イベントがたくさんある。12月には「野田生カーニバル」もある。

#### Q 給食は美味しいですか？

- ・美味しくて、食缶がいつも空になる。
- ・全部美味しい。3年生は足りなくて、下級生の分をもらうときがある。

#### Q 八雲町にあったらいいと思うものは？

- ・以前、近くにあったコンビニがなくなり、不便を感じる。
- ・バッティングセンターがあると嬉しい。
- ・プリクラがあればいい。

### 落部中学校3年生

#### Q 修学旅行で落部のPRをしたそうですね。

(ふるさとの産業に誇りを持ってもらいたいと願い、今年から始めた取り組み)

- ・東京浅草の宿泊したホテルの前で、八雲町と、ふるさと納税のパンフレット、ウニの説明文、ホタテの貝柱5個をセットにして、250人に配布した。
- ・歩いている人に話しかける時、どうやったらいいか悩んだ。声のかけ方が勉強になった。
- ・とてもいい経験になった。

#### Q 八雲に欲しいものは？

- ・飲食店が少ない。
- ・プリクラがほしい。
- ・国道の街灯が少なくて暗い。
- ・少年団で柔道をやっているが、畳が少ない。

#### Q 給食は美味しいですか？

- ・カレーライスやシチューも美味しい。
- ・以前あった揚げパンが食べたい。

#### Q 学校生活の思い出は？

- ・修学旅行、学校祭が楽しかった。
- ・学校祭は器楽やステージ発表（歌や踊り）があって盛り上がった。
- ・運動会がスポーツ大会になり、レクリエーション種目が減って残念だった。

・・・取材を終えて・・・

表紙の写真からもわかるように、学校生活を楽しんで過ごしている様子が、表情や言葉から感じ取ることができました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

## 編集後記

議会広報モニターを引き受けてくださった岡田嘉治さんが、お亡くなりになりました。慎んでお悔やみ申し上げますと、これまでのご協力を深く感謝申し上げます。

この8月から9月の初旬にかけて、身近な人がずいぶん他界されました。熱中症で亡くなった方もいました。

熱中症といえば、伊達市で小学2年生の女子児童が、その犠牲となりました。北海道新聞の渡島・檜山の小中学校における各教室のエアコン設置率の調査結果では、八雲町は0%となっており、残念ながら保健室での設置に留まっています。今後も暑い夏が予想されます。八雲町の各学校の教室に、早急にエアコンを設置することを、町に要請すべきと、議会内でも話し合っています。

議会広報聴常任委員会

委員 佐藤 智子